

興徳寺便り

第141号
(復刊第66号)
令和5秋彼岸

みみと めと はなと くち
いちめんにくすぐる あきのかなしみ

秋の かなしみ

八木重吉

わがこころ
そのの そのより
わらひたき
あきの かなしみ
あきくれば
かなしみの
みなも おかしく
かくも なやまし
みみと めと
はなと くち
いちめんにく
すぐる あきのかなしみ

八木重吉 明治31年、東京南多摩（町田市）に出生。東京高等師範学校在学中に（大正8）洗礼を受ける。2年後、兵庫県御影（みかげ）師範の英語教師として赴任、このころから詩作に熱中し、詩と信仰の合一を目ざすようになる。25年千葉県立東葛飾（ひがしかつしか）中学に転任、第一詩集『秋の瞳（ひとみ）』を刊行、佐藤惣之助（そうのすけ）主宰の『詩之家』同人となった。翌年結核を発症、昭和2年、29歳で死去。没後、生前に編纂した詩集『貧しき信徒』が刊行された

夏の終わり、日差しは強いものの、朝夕の空気に、渡る風の冷たさに、田んぼに赤とんぼの飛ぶを見るようになれば 秋はもうそこ・・・

食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋・・・期待に胸ふくらむ季節です。そんな心の底から笑いたくなるような秋を、宗教詩人八木重吉は かなしみと表現しました。彼の詩の中で かなしみは悲しみ、哀しみ、ときに愛しみと表現されています。

妙法蓮華経如来寿量品第十六の一節 「常懐悲感 心遂醒悟」



（じょうえいひかん しんすいしよ うご）常に悲しみをいだき続け て心は遂に醒めて悟りにいたる。

秋は心をわくわくさせ時に感傷的にもさせる。喜びと悲しみは一体のもの、「耳と目と鼻と口、一面にくすぐる秋の哀しみ」という表現に「ウーン、分かるッ！」と感心、武田鉄矢のヒット曲「贈る言葉」の中の ♪人は悲しみの多いほど人にはやさしくなれるのだから♪にも納得！

生きるということは、悲しみが常に付きまとうもの、その悲しみを受けとめ、逃げずに心に抱き続けることによって真理に近づくことができる、深い悲しみを体験することによって、他人の悲しみが理解できる人になれる。

秋、野山が紅葉で彩られますが その美しさは春の花とはちよつと違うような気がします。華やかさの中に悲しみを感じてみませんか？

暮れまでの予定

9月23日(土) ^{ひ かん え}**彼岸会** 10:00～ 法要。10:40～法話

恒例の秋のお彼岸の法要です。新型コロナウイルス感染対策として参詣者にはマスクの着用、入り口でのアルコール消毒、座席を離す、換気の徹底等できる限りの対策は施します。お経のいっばいあがった卒塔婆をお墓に建てましょう。

(当日参詣できない方は、式後本堂から自由にお持ち帰りください。本堂は日中は開いております) お塔婆のお申し込みはお早めに(2千円です)。

9月24日(日) 15:00～写経 16:00 ^{しょうだいぎょう}「唱題行」(毎月第4日曜日)

10月22日(日) 15:00～写経 16:00 ^{しょうだいぎょう}「唱題行」(毎月第4日曜日)

11月12日(日) ^{え しき}**お会式** 10:00～ 法要～法話

日蓮聖人742遠忌の法要です。法要の後の庫裏での昼食を復活させます。法話は富士宮市青木「妙善寺」ご住職・寺尾是堯上人にお願いしました。若くてさわやかで立派なお坊さんです。どうぞご期待下さい。

11月26日(日) 15:00～写経 16:00 ^{しょうだいぎょう}「唱題行」(毎月第4日曜日)

美琴(みこと)さん 快挙!!

檀家さんの望月雅文さん(下柚野望月節子さんの次男)の長女望月美琴(みこと)さん(富士宮東高校3年)の作品『おもいの越流』がこのたび鹿児島市で開催された『全国高等学校総合文化祭美術工芸部門』の出展作に選ばれ8月末日、担任の先生と共に参加してきました。ご家族も同行し改めて快挙の喜びを分かちあったそうです。美琴

さんは幼いころから絵を描くことが大好きで、今回の作品は9歳下の元気な弟・悠渡(ゆうと)君、やりたいことがいっぱいあり過ぎてできない、そのはじける思いをほとばしる水で表現したそうです。美琴さんは来年は美術大学への進学を目指しているそう。今後の大いなる活躍に期待し皆で応援しましょう!



『伝統の灯』今年も

8月16日、恒例の「施餓鬼法要」が行われました。

「川施餓鬼」ですがコロナに入ってから「施餓鬼法要」川施餓鬼」という今の形となりました。今年はお盆に「新盆」の方の遺族に呼びかけ、卒塔婆を建て、

かつて100人以上の子どもたちを集めて行なわれていた燃えるタイマツを掲げて芝川まで行き、川で焚き上げ供養させていただきました。「心に残るお盆になった」と好評でした。



散華



法要の御宝前の灯を頂いて点火



今回もスタッフの皆さまには準備から翌日の片付けまで暑い中、大変お世話になりました。ありがとうございます。

【写真提供 高瀬幹雄】



芝川にて水向供養；この地・川に纏わる精霊と亡き霊に焼香



お彼岸のお経廻りの予定

- 9月2日(土) 万野原新田・大岩・小泉
- 3日(日) 富士市
- 4日 稲子～芝川・大久保
- 5日 精進川～下条
- 6日 下条、青木 7～8日 青木～馬見塚～外神・宮原～富士見ヶ丘
- 9日(土) 三島(富士) 清水・静岡・
- 10日(日) 由比、内房、大久保、～
 柚野 他希望者
- 11日 大中里・泉町・穂波町・淀師・
 中島町・淀川町・貴船町・
- 12日 北山・上井出・山宮・粟倉・
 舟久保町・村山
- 13日 宮町・西町・大宮・豊町・野中・
 星山・田中町・源道寺～ 柚野
- 14日～ 柚野

* 日付が変わることがあります。
変更等希望する方、ご連絡ください。

住職のひとりごと

* 「暑いですね」 今年の夏は「異常ですね」お檀家さんを廻るとどこの家でもまずはこの挨拶です。ヒネクレ者の私は「暑いなんて歳をとってジチがなくなってきたからですよ、甲子園では炎天下で全力で野球やっつてんですよ」それにね、あと4ヶ月でお正月ですから・・・その甲子園で今年からクーリングタイムを導入、熱中症対策として試合を

* 彼岸花の季節

今年の彼岸花、9月20日頃から1週間くらいかと予想しています。混乱を避ける為に上の駐車場は閉鎖しますが、お檀家さん、墓参の方につきましてはどうぞ今まで通り利用してください。混雑でご迷惑をおかけすることもあるかも知れませんが、お誘いあわせの上、彼岸花を楽しんでいただけたらと思います。 * 彼岸

10分間中断し選手は体を冷やしたり水分を補給したり・・・やっぱ異常な暑さなんです。ね。



花開花の前に一斉に草刈りを行います。8月末～9月3日まで、ご協力できる方はお願い致します。

* コロナで中止しておりました「バス旅行」を4年ぶりに復活します。当初予定の「那智の滝」を変更し「岐阜高山く松本」としました。宿泊は「高山温泉」費用は飲み物込みで3万円。檀家さんだけの気楽な旅行です。希望者はお早めに。 * 『彼岸の法要』の卒塔婆のお申込みはお早目をお願い致します。『お会式』も4年ぶりに法要の後の庫裏での会食を4年ぶりに復活いたします。残念なことにタケノコが裏年で収穫できず、

タイゼン・ケイタイ ; 090-2180-8591



白の彼岸花、咲き始めました

【泰然記】

トは鈴木ゆかりさんでした。

代わりに何かを準備します。お楽しみにどうぞ。予定通りです。お檀家さんには「案内状」にて改めてお知らせいたします。 * 今回のイラスト